

電機・情報ユニオン

2020年10月10日 第109号

発行 電機・情報ユニオン

〒142-0043 東京都品川区二葉

2-20-8染野ビル2F

Tel03-6421-5323、Fax03-6421-5324

Email: denkiunion@gmail.com

56万人リストラに反撃し雇用を守ろう 職場に自由と民主主義の確立を **第10回定期大会**



米田 徳治
中央執行委員長

委員長あいさつを行った米田徳治中央執行委員長は、新たに発足した菅義偉内閣は安倍政治の全面的な継承を掲げており今後もリストラ推進の政治が濃厚なこと、コロナ禍に乗じて電機産業

**人権が尊重される
社会・職場にしていく**

56万人リストラに反撃し、雇用と地域経済を守ろう！職場に自由と民主主義の確立を！電機・情報ユニオンは9月20日(日)、第10回定期大会を45人の参加で開催しました。
本大会は新型コロナウイルス感染症防止のため、大会会場の東京労働会館ラパスホールに28人(大会代議員、大会役員、来賓、傍聴者)が出席し、大阪支部、茨城支部、群馬支部、愛知支部の大会代議員、大会役員らの17人がオンラインで参加する、初めての運営で行われました。



電機労働者懇談会
今井 節生 代表

**労働組合の
存在と役割は大きい**

が導入したテレワークは厚労省が定めたテレワークガイドラインをまったく遵守してなく多くの労働者にテレワークストレスが高まっていることをNECの事例をまじえて報告し、封書付きリストラアンケート配布で職場要求を吸い上げ、厚労省に出させた各種通達やILO190条ハラスメント禁止条約、電機産業政策提言を力にして、展望をもつてたかいを進めることを強調し、「電機リストラから雇用と地域経済を守り、職場に自由と民主主義の確立をめざし、人権が尊重される社会・職場にしていく」と呼びかけました。

電機労働者懇談会の今井節生代表は、電機職場で進められている雇用システム改善を報告し、「この10年間は電機リストラとのたたかい。電機懇・企業懇と電

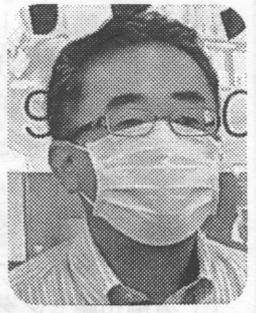


東京地評
井澤 智 事務局長

機・情報ユニオンの共同の取組みをいっそう強めていく」と呼びかけました。

東京地評の井澤智事務局長は、8年近くの安倍政権の経済政策のもとで労働者の犠牲の経済政策が行われたこと、コロナ危機で新自由主義経済の弱さと悲惨さが露呈されたことを報告し、「いま、労働組合の役割が問われている。産業が正しく発展していく政策を提起していきたい」と話されました。

神奈川労連の山田浩文事務局長は、神奈川労連に労働相談が相次ぎ、数十人が加入して団体交渉で雇用を守った事例を紹介し、「私自身も60件をこえる相談を受けた。解決策として①総資本と総労働のたたかいの位置づけで、最低賃金1500円の引き上げが不可欠②労働法制の抜本的な改革が必要と考える」「労働組合があれば、雇用を守り人



神奈川労連
山田 浩文 事務局長

権侵害を防ぐことができる。労働組合の存在と役割の大きさを実感している」と話されました。

**要求実現、運動の前進を
勝ち取った1年**

森英一書記長は、第10回定期大会議案書にそって活動報告、情勢、運動方針案を簡潔に提案しました。

活動報告では、新型コロナウイルス危機での困難さに見舞われたが、リモート会議を活用した機関会議の開催を維持して諸活動を展開してきたこと、要求実現(2面に続きます)

第109号の紹介	
1面	第10回定期大会
2面	第10回定期大会
3面	第10回定期大会 米田委員長メッセージ87
4面	交流のひろば、告知板、 あとがき